



学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

令和5年4月7日

横浜市立三ツ境小学校

三ツ境小だより 4月号



「令和5年度のスタートにあたり」

～つながる 続ける 創り出す～

校長 飯田 雅人

暖かい春の日差しを受けて、校庭では色とりどりの花が咲き、子どもたちの登校を待っているかのようでした。春の訪れとともに、令和5年度のスタートです。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

さて、私は、今年度笹野台小学校より着任いたしました飯田 雅人と申します。管理職としましては、副校長として同じ瀬谷区の瀬谷小、泉区伊勢山小、旭区本宿小に計6年勤務し、その後校長として、同じ三ツ境駅を最寄り駅とする旭区笹野台小で5年勤務してまいりました。この度9年ぶりに瀬谷区に戻り、前任校と同じ三ツ境駅を最寄り駅とする三ツ境小学校に着任することができ、大変うれしく思っています。前任の遠山校長の後を引き継ぎ、地域に根ざした創立67年目を迎える三ツ境小学校の伝統を大切に、保護者、地域の皆様のご支援とご協力をいただきながら、気持ち新たに着実な歩みを進めてまいりたいと思っております。

私は、三ツ境小学校に着任が決まると同時に、町の様子を早く知りたくて、3月中に何度か三ツ境駅から三ツ境小学校まで歩いてみました。様々なお店が建ち並ぶ地域に密着した商店街を通り過ぎ、花いっぱい公園などを抜けると、いつの間にか閑静な住宅街へ。右に左に曲がってみると、住宅街の中で過ごしている子どもたちの姿を見かけました。とても素直そうで、いきいきとした表情の子どもたちばかりでした。学校周辺の道路では、偶然出会った地域の方に、私から少し緊張気味にあいさつをしてみると、見知らぬ私に対してどなたも「こんにちは」と笑顔で温かなあいさつを返していただきました。私はうれしくなると同時に、この三ツ境小学校に着任できることを心待ちにすることができました。

新年度を迎え、子どもたちは、私と同様、緊張と少しの不安を感じながらも新しい出会いを楽しみに登校してきたことでしょう。また、この一年でがんばりたいことも考えているに違いありません。私は「目の前にいる子どもの存在が第一」であることが学校にとって最も大切なことであると考えます。そして保護者・地域の皆様にとっては「安心して子どもを任せられる学校」でなくてはなりません。子どもを中心にして「学校」「家庭」「地域」がますます連携を深め、よりよい学校をめざして、知恵を出し合いながら前向きに取り組んでいくことが必要であると考えています。

本校のテーマ「つながる 続ける 創り出す」を大切に、教職員一同、心と力を合わせて努めてまいります。本校への保護者、地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

4月からの給食指導について

横浜市教育委員会からの3月の通知を受け、三ツ境小学校では、適切に換気を行った上で、「大声でなければ話をしてもよい」という取組を進めていきます。座席の配置等については、様々な実情をもつ児童がいることから、学級の様子を考慮しながら、5月以降、段階的に教師の指導のもと、配置を変えることも可能としていきます。これまで通り、食事のマナーや衛生管理については、給食指導の一環として取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。